

平成28年度 定期総会 開催



横山会長の挨拶

5月22日、中央公民館第1ホールにて文団連の定期総会が開催されました。横山会長から「3つの自主事業や、市主催事業への協力が定着しており、文団連からの企画提案によるイベントも実現してきている。また、他市の文団連や行政からの見学も増えており、会員各位の努力のお蔭で狭山市以外にも文化が発信されている。気持ちを一つにして今年度もやって行きたい」との挨拶がありました。

ご来賓の小谷野市長は「日高市の高麗郡建郡1300年記念式典に参加してきました。狭山市がその一部だったことを改めて感じました。2月の市民芸術祭では総力を挙げて素晴らしいステージの数々を繰り広げていただきました。文化や芸術は人を元気づける力があるし、人を集める力もあると思う。皆さんと心をついに、元気な狭山市の街作りをして行きたい」と抱負を述べられ、続いて、市会議長の町田氏および向野教育長からは、それぞれ「青少年文化体験フェスタでは、子どもたちが色々な文化に触れて楽しくやっているのを見て有り難いと思っております。世の中が目まぐるしく、せわしい時代で子どもたちも文化に触れる機会が少ない中、文団連の活動は有意義なことと思っております」「市民芸術祭が市民の間に定着して来ている。青少年文化体験フェスタでは伝統文化の継承など情操教育に貢献頂いていることに御礼を申し上げます。文化は社会を映すバロメータと言いますが、いかに市の文化度が高いかを映す鏡でもあります。狭山市の文化がますます発展し豊かな心を持った社会になることを願っております」とのご挨拶がありました。

PTA連合会田邊会長、商工会議所事務局細田次長、生涯学習部小澤部長、社会教育課大寺課長にもご来賓として参席頂きました。皆さまに感謝申し上げます。

定足数49名に対し、出席・委任状あわせて65名で、総会は成立。議長に選出された童句振興協会の広沢理事の進行により、平成27年度の事業報告と決算報告、並びに平成28年度の事業計画と予算案が審議され、それぞれ満場の拍手で承認されました。

本年度は、役員改選はなく、昨年度と同じメンバーで運営がなされます。

平成28年度文団連基本方針

文化活動団体を支援することによって、生き生きとした文化人が狭山にあふれる事を目標とする。また各団体と協働し、狭山市が優れた文化都市になることを目指す。

重点項目

1. 会員の拡大
2. 所属団体の活性化
3. 狭山市の子どもたちの文化環境を豊かにする
4. 自主事業の安定的継続
5. 広報活動の充実
6. 狭山文化の掘り起こしと普及
(狭山の民話を広めるプロジェクト)
7. 被災者支援プロジェクト活動の継続推進